

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年12月20日

学校法人 加藤文化学園

三鷹みずほ幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・創造性溢れる園庭で挑戦できる子どもに
 自ら考え遊ぶことを習慣づけることで本能を磨き、自尊心や探求心を育てる
- ・動物とのふれあいで豊かな感性を
 自分とは違う存在とのふれあいを通して、友愛の心を学ぶ
- ・園の近くの畑で食物を育てる大事さを学ぶ
 実際に自分の手で作物を育て収穫する体験に幼児期から触れることで豊かな心を育む

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・自由あそびの時間を毎日設定する。
- ・鶏2羽、うさぎ1羽、インコ3羽とふれあう。年長はお世話をする。
- ・畑での収穫計画
 春：ジャガイモ収穫（少・中・長） 夏：枝豆種まき、収穫（中・長）
 秋：サツマイモ収穫（長） 冬：大根収穫（少・中・長）

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼児教育の内容・方法の改善	A	重点目標は全て実施した。 水曜日の学年別研修で、教育内容の改善を実施した。 年長3クラスに対し1名、年中3クラスに対し3名、 年少3クラスに対し3名、補助教員を配置した。
2	幼児教育を担う人材育成・専門性の向上	A	職員4名が二種免状から一種免状への更新をした。 職員1名が年内新規に一種免状を取得予定。
3	家庭・地域における幼児教育の支援	A	保護者参加行事ジャガイモ掘り（5月少中長）紙相撲大会（9月長）もちつき（12月希望者）を実施した。 月曜、木曜、金曜に園庭開放を実施した。（10月までは学年毎、11月から全学年）

4	新型コロナウイルス感染症に対応した取り組み	B	食事の時は、4人席にパーテーションを設置した。テーブルは次亜塩素酸水にて拭き掃除を実施した。降園後は、各教室でオゾン消毒を実施した。
---	-----------------------	---	--

評価 (A…十分成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	重点目標は全て実施できた。また、年少、年中全クラスに補助教員を配置することで、質の高い教育を実践することができた。上位免状取得により、職員の質の向上も期待できる。また、保護者参加型幼稚園行事を行うことで、コロナ禍において交流の機会が減った各家庭間の交流の場を提供した。

評価 (A…十分成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境	園庭や屋内の環境について話し合い、遊びがより充実するよう、環境の構成に取り組む。
2	安全管理	外遊びの際に必ず職員が配置できるよう、人員配置を検討する。
3	収穫体験	収穫を継続できるよう、人員の育成を実施する。

6. 学校関係者評価委員会の評価

(評価委員会 12月18日開催)

本評価は概ね妥当であると認める。

今後も子どもたちのための企画を維持していただきたい。